

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191500042		
法人名	株式会社 ケアフル・ケア		
事業所名	グループホームせせらぎ		
所在地	佐賀県西松浦郡有田町応法丙3902番地		
自己評価作成日	平成 30年 4月 24日	評価結果市町村受理日	平成30年7月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成 30年 5月 29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設9年目に入りましたが、開所より変わらず『介護サービス理念』の唱和は毎朝の朝礼で欠かさず行っています。理念の中にもありますように、「自分が逆の立場ならば」という相手の立場に立った介護を目指しています。安心して生活が出来る施設「せせらぎ」であるように、職員の教育に力をいれ、資格別にテストを実施しました。今後の継続予定です。また、地域交流として、施設内の畑を利用し、地域の方に協力して頂きながら野菜作りをしています。年1回開催しているお祭りには、ご近所の方をお招きし、利用者様とも顔なじみの関係であるように、地域の一員であるように取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

寮元のおもむきのある街並みで、町内の方が多く入居されており、今までの関係性が途切れないような地域とのつながりを大切にしているホームである。また、入居者一人ひとりの立場に立った支援を行うため、職員の知識やスキルの向上を狙い、各職員が目標設定を行い、定期的上司と振り返りをするなど様々な工夫を取り入れ、研究大会等において発表する場もある。特に地域との交流では、敷地内の草刈りや畑の手入れ等を地域の方と協力して行ったり、お祭りでは入居者の席を準備してもらう等、相互の交流を盛んに行っている。さらに、地域のことも考えて災害時の備蓄や備蓄用倉庫の鍵を共有する等、協力的な関係を築いている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印			項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		
	黒髪	龍門			黒髪	龍門	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	介護サービス理念「5つのならば」を毎朝朝礼にて唱和し、職員すべてが理念に沿った介護を行い、ユニット毎にも理念に沿った目標を立てて取り組んでいます。	介護サービス理念「5つのならば」を毎朝朝礼にて唱和し、職員すべてが理念に沿った介護を行い、ユニット毎にも理念に沿った目標を立てて取り組んでいます。	法人全体の理念を唱和するなど、職員で共有するとともに、具体化した目標を半年単位で立て、目標は1ヶ月毎に振り返ることで、理念の実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭りやおくんち、施設でもお祭りなどに参加し、草むしりや畑仕事など一緒に行っています。また、地域の方にお手伝いに来て頂いたり、毎日散歩を行い顔見知りの関係を作っています。	地域のお祭りやおくんち、施設でもお祭りなどに参加し、また、地域の方にお手伝いに来て頂いたり、カフェへの参加で地域との交流されます。	地域行事、お祭りはもちろん、サロンへの参加等、日々の生活の中で関わりを持ち、地域の一員として地域との付き合いを行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会や掲示板などを理解して頂けるよう努めています。また、町からの依頼で認知症サポーター養成講座にも参加し、地域に向かっています。	運営推進委員会や掲示板などを理解して頂けるよう努めています。また、町からの依頼で認知症サポーター養成講座にも参加し、地域に向かっています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	各月のユニット毎の行事や出来事、健康状態、入所・退所の状況、事故報告など行いながら、活かしています。意見が出たことに関しては、会議等で話し合うようにしています。	各月のユニット毎の行事や出来事、健康状態、入所・退所の状況、事故報告など行いながら、活かしています。意見が出たことに関しては、会議等で話し合うようにしています。	ホームでの行事や出来事等の報告の他、家族会からの要望・意見も積極的に出され、協議を行っている。会議の内容は職員間で共有し、反映するようにしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	二か月に一回の運営推進会議に参加して頂き、意見交換を行っています。また、普段より町主催の研修等には積極的に参加し、交流を図るよう努めています。	二か月に一回の運営推進会議に参加して頂き、意見交換を行っています。また、普段より町主催の研修等には積極的に参加し、交流を図るよう努めています。	適宜、町の担当者と報告、相談を行っており、協力関係を築いている。また、町主催の研修会に積極的に参加し、情報の共有を行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間の戸締り以外は、常時自由に入出りができるようになっています。	夜間の戸締り以外は、常時自由に入出りができるようになっています。	身体拘束についての研修会への参加や、事業所内での内部研修を通して、職員全体で理解できるようにしている。日頃よりスピーチロック等にも注意し、言葉遣いも含め、拘束のないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	出来る限り外部の研修やホーム内での研修などで徹底を図るとともに、職員が対応などで不安がある場合は、早めに解決し、虐待につながらないようにつとめています。	出来る限り外部の研修やホーム内での研修などで徹底を図るとともに、職員が対応などで不安がある場合は、早めに解決し、虐待につながらないようにつとめています。		

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などに参加し、理解・活用できるよう努めています。	研修などに参加し、理解・活用できるよう努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明し、納得し安心して頂けるようにつとめています。	契約時に説明し、納得し安心して頂けるようにつとめています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会の皆様で、年2回ほど会議を開かれ、そこで施設への要望など取りまとめて頂けるようにしています。	家族会の皆様で、年2回ほど会議を開かれ、そこで施設への要望など取りまとめて頂けるようにしています。	年2回の家族会や面会等での関わりをとおして、入居者や家族が意見を聞く機会を設け、意見交換を図っている。また、出た意見については職員で協議し対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフが意見を言いやすい雰囲気を作り、各個人別にファイルを作成し、一か月ごとに意見交換を行っています。	スタッフが意見を言いやすい雰囲気を作り、各個人別にファイルを作成し、一か月ごとに意見交換を行っています。	会議や日々の関わりのほか、職員が取り組みを振り返るファイルを活用し、意見交換を行っている。また、口頭だけでなく、メモなどでも意見ができるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社会保険労務士に依頼し、給与水準や仕事の出来栄えなど自己評価を行い、フィードバックしながらやりがいや昇給に繋がるシステムを導入しています。また、頑張っているスタッフをしっかりと評価できるようにしています。	社会保険労務士に依頼し、給与水準や仕事の出来栄えなど自己評価を行い、フィードバックしながらやりがいや昇給に繋がるシステムを導入しています。また、頑張っているスタッフをしっかりと評価できるようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修には積極的に参加してもらっています。また、毎月個人の目標を振り返りながら、ケアの質の向上に努めています。	施設内外の研修には積極的に参加してもらっています。また、毎月個人の目標を振り返りながら、ケアの質の向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	有田町内のグループホームの事業所で二か月に一回勉強会を開き、お互いの質の向上に努めています。	有田町内のグループホームの事業所で二か月に一回勉強会を開き、お互いの質の向上に努めています。		

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面会時に、ご本人の要望・希望をお聞きし、安心して入所して頂けるように努めています。	初回面会時に、ご本人の要望・希望をお聞きし、安心して入所して頂けるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前より、ご家族の思いをしっかりと聞きし自分たちがご家族の支えになれるよう、そしてケアにつながるよう努めています。少しでも、気持ちが楽になれるようにと思っています。	入所前より、ご家族の思いをしっかりと聞きし自分たちがご家族の支えになれるよう、そしてケアにつながるよう努めています。少しでも、気持ちが楽になれるようにと思っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今必要なサービスや援助を十分に検討したうえで、相手にとって一番いいサービスができるよう、柔軟な対応に努めています。	今必要なサービスや援助を十分に検討したうえで、相手にとって一番いいサービスができるよう、柔軟な対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	相手の立場に立った介護が出来るように日頃から努めています。	相手の立場に立った介護が出来るように日頃から努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様とご家族の絆を支えるのが、介護する側の務めと思います。そのために自分たちが脇役になり、自宅にいるような生活を支援していきたいと思います。	ご本人様とご家族の絆を支えるのが、介護する側の務めと思います。そのために自分たちが脇役になり、自宅にいるような生活を支援していきたいと思います。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の馴染みの店や家など、行きたいところに行ける支援をご家族と相談しながら可能な限り行っています。	ご本人の馴染みの店や家など、行きたいところに行ける支援をご家族と相談しながら可能な限り行っています。	本人や家族からの情報を基に、サロンへの参加や墓参りを行うなど、本人の馴染みの関係が継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご本人の素晴らしいことを私たちが代弁しながら、関係性を作り出していく支援を心がけています。食事の際の席の配置など日常過ごされる環境には特に配慮しています。	ご本人の素晴らしいことを私たちが代弁しながら、関係性を作り出していく支援を心がけています。食事の際の席の配置など日常過ごされる環境には特に配慮しています。		

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年賀状・お手紙、家族会への参加を呼び掛けています。	年賀状・お手紙、家族会への参加を呼び掛けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常のコミュニケーションから、思いや希望を読み取り、担当者を中心に検討しています。	日常のコミュニケーションから、思いや希望を読み取り、担当者を中心に検討しています。	一人ひとりの入居者との関わりを通し、思いや希望を把握するように努め、対応している。また、難しい場合には、家族に確認し対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントをとり、ケアの質の向上につなげています。	アセスメントをとり、ケアの質の向上につなげています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別申し送りやケアプラン実行表に記入し、情報の共有に努めています。	個別申し送りやケアプラン実行表に記入し、情報の共有に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスやユニット会議でご本人・ご家族の意見を重視し、作成に努めています。	カンファレンスやユニット会議でご本人・ご家族の意見を重視し、作成に努めています。	介護計画作成の際は、入居者担当の職員が情報収集を行い、計画作成担当者と一緒に作成している。また、介護計画に即した支援が行えているかを確認している。しかし、書類整備は十分とはいえない。	介護計画作成のための担当者会議の記録とわかるような、記録方法についての工夫されることが望まれる。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別申し送りやケアプラン実行表に記入し、情報の共有に努めています。	個別申し送りやケアプラン実行表に記入し、情報の共有に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出や外泊の際の支援、入所時必要に応じてお試し外泊・ご家族の送迎のお手伝いなど取り組んでいます。	外出や外泊の際の支援、入所時必要に応じてます。		

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご自宅への外出・馴染みの場所への外食など支援しています。	ご自宅への外出・馴染みの場所への外食など支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今までのかかりつけ医を継続し、安心して医療が受けられるように支援しています。	今までのかかりつけ医を継続し、安心して医療が受けられるように支援しています。	今までのかかりつけ医との関係を大切に、安心した医療が受けられるように配慮している。受診時には家族にも同行してもらい、対応方法を共有するなどの支援を行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の中で、変化・気づきがあればその都度看護師へ報告し、指示をもらうようにしています。	日常の中で、変化・気づきがあればその都度看護師へ報告し、指示をもらうようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域連携室との連絡を密にし、情報交換を密にするよう努めています。また、入院中はこまめに足を運び、状態の把握・早期退院出来るよう努めています。	地域連携室との連絡を密にし、情報交換を密にするよう努めています。また、入院中はこまめに足を運び、状態の把握・早期退院出来るよう努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所中の段階で、ご家族またはご本人の希望をお聞きするようにしています。重度化や終末期になった際も、何度も意見を確認しながらご家族と一緒に支えていけるよう努めています。	入所中の段階で、ご家族またはご本人の希望をお聞きするようにしています。重度化や終末期になった際も、何度も意見を確認しながらご家族と一緒に支えていけるよう努めています。	入居時や急変時など、その都度、説明を行い、本人や家族の意向を確認しながら対応している。状況に応じ、主治医から説明を受けることができ、医療機関や家族と一緒に支えることができるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員会議の時に、AEDの場所の確認、使い方など周知徹底行いました。	職員会議の時に、AEDの場所の確認、使い方など周知徹底行いました。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練1回、災害訓練1回行いました。備蓄倉庫を設置し、災害時の食料・水・簡易トイレ・テントなどを備えています。	消防訓練1回、災害訓練1回行いました。備蓄倉庫を設置し、災害時の食料・水・簡易トイレ・テントなどを備えています。	年2回の訓練では、実際に避難所まで行くなど、消防署と連携して取り組んでいる。備蓄品は地域住民の分も準備し、備蓄庫の鍵は地域の方と共有するなどの体制をとっている。しかし、避難誘導時の地域住民との役割確認はこれからである。	避難誘導時にどのように地域の方と役割確認することで、よりスムーズな避難となることに期待したい。

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	相手を尊重した言葉かけは、日常から心がけています。	相手を尊重した言葉かけは、日常から心がけています。	日頃より人格を尊重した態度で接し、馴れ合いにならないようにしている。意思表示が難しい場合でも、情報収集を行い、その人らしい暮らしができるようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択できる環境を作るように心がけています。日頃から、思いや希望を、細かいことでもきちんと聞くように努めています。	選択できる環境を作るように心がけています。日頃から、思いや希望を、細かいことでもきちんと聞くように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースを把握することに努め、その方の生活を守り、また、個別の対応を出来るだけ行うようにしています。	ご本人のペースを把握することに努め、その方の生活を守り、また、個別の対応を出来るだけ行うようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時は必ず髪を整えるようにしています。服は、ご本人にお見せし、選んで頂けるように努めています。	起床時は必ず髪を整えるようにしています。服は選んで頂けるように努め、小物等も身につけて頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おかずのつぎわけなど一緒に行うようにつとめています。	おかずのつぎわけや後片付けなど、一緒に行うように努めています。好まれない物は代替りの物を提供します。	入居者の状態に合わせた食事形態で提供し、体調や好みにも応じるなど柔軟に対応している。また、季節の食材を使ったり、季節行事にあった料理を提供するなど、食事を楽しくするよう努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量と種類を記入し、不足されている方に関しては、ゼリーなど工夫して提供しています。	水分摂取量と種類を記入し、不足されている方に関しては、ゼリーなど工夫して提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの言葉かけ・介助等を行っています。	毎食後の口腔ケアの言葉かけ・介助等を行っています。		

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を用いながら、排泄パターンを共有しトイレに座っていたりできるよう努めています。	排泄チェック表を用いながら、排泄パターンを共有しトイレに座っていたりできるよう努めています。	排泄チェック表を基に、排泄パターンを把握し、日中はトイレへ誘導するなど、排泄の自立支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬だけに頼らず、運動・水分など工夫するよう努めています。	薬だけに頼らず、運動・水分など工夫するよう努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそうした支援をしている	毎日入浴できるようにすることで、ご自分で入る日・時間等選択していただけるようにしています。	毎日入浴できるようにすることで、ご自分で入る日・時間等選択していただけるようにしています。夕食後も入浴の声掛けをしています。	入居者の希望に応じて、一日中入浴できるように準備している。入浴中もゆっくりできるよう本人の意向に沿いながら、時間を調整するなど、支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温・明るさの調整、希望あれば夜食の提供など行い、安眠を促しています。	室温・明るさの調整、希望あれば夜食の提供など行い、安眠を促しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬一覧をファイリングし、把握に努めています。誤薬がないよう、確認手順を見直しました。	服薬一覧をファイリングし、把握に努めています。誤薬がないよう、確認手順を見直しました。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人に合わせた作業・読書など個別支援に努めています。	一人一人に合わせた作業・自室では音楽を聴いて頂いたり個別支援に努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出支援や食事など、ご家族の協力を得ながら支援しています。四季を感じて頂けるように努めています。	外出支援や食事など、ご家族の協力を得ながら支援しています。四季を感じて頂けるように努めています。	家族の協力を得ながら、日常的な外出や地域の行事に出かけている。また、近所で行われるサロンなどにも参加し、地域の方との関係性も築けるようにしている。	

自己	外部	項目	黒髪ユニット	龍門ユニット	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望がある際は、ご家族と相談しながら金銭の所持に対応するようにしています。	希望がある際は、ご家族と相談しながら金銭の所持に対応するようにしています。ご家族様より預かっている金銭は、面会時に確認して頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話連絡を取り合う方がいらしゃいます。	本人自らはないですが、スタッフより電話支援行っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じて頂けるような環境をつくり、日にちは見やすく表示しています。食事の席の配置など工夫しています。	季節感を感じて頂けるような環境をつくり、日にちは見やすく表示しています。食事の席の配置など工夫しています。	手作りの物で飾りつけをするなど、落ち着いた生活できるような雰囲気づくりを行っている。また、入居者に分かりやすい案内表示や、夜間帯の足音に気を付けるなど、快適な環境づくりに取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや廊下の所々に椅子やソファを置いて、一息つける場所を作っています。	リビングや廊下の所々に椅子やソファを置いて、一息つける場所を作っています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時よりご本人が使用されていたものを持って来ていただいています。犬のぬいぐるみを持参してらっしゃいます。	入所時よりご本人が使用されていたものを持って来ていただいています。自分で彫られた彫刻を自室に飾っておられます。	入居者が普段より使用していた家具を持ってきてもらうなど、安心できる生活空間づくりを行っている。また、家具の配置は入居者や家族と協議し、決めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり、椅子、歩行器、目線に合わせた表示など工夫し支援しています。	手すり、椅子、歩行器、目線に合わせた表示など工夫し支援しています。		